

報道発表資料

2018年3月28日

**テクトロニクス、4K/HDR/WCG サポートの拡張により、
ライブ／ポストプロダクション・アプリケーションの作業簡素化を実現**
WFM5200 シリーズ、WFM8300 型、PRISM のサポートにより、より多くの規格、使用事例に対応

テクトロニクス(所在地: 東京都港区、代表取締役: Kent Chon)は、本日、軽量・コンパクトな WFM/WVR5200 シリーズ波形モニタ/ラスライザ、WFM/WVR8300 型波形モニタ/ラスライザ、PRISM IP/SDI メディア・モニタリング/解析プラットフォームに、4K/UHD(Ultra High Definition)、HDR(High Dynamic Range)、WCG(Wide Color Gamut)のサポート拡張を発表しました。この機能拡張により、コンテンツ事業者は最新の技術を使用して、優れたコンテンツの取込み、制作がより簡単に行えます。

ビデオ業界は、このような技術を搭載した最新の中継車、設備で 4K HDR/WCG のコンテンツ制作に積極的に移行しています。しかし、HDR/WCG コンテンツのためには、適切なツールと新しい測定技術が必要になります。例えば、カメラのセットアップは、ポストプロダクションでは補正できない問題(暗い部分でのノイズなど)のリスクのため、従来よりも重要になっています。さまざまなカメラ・ログ・フォーマットのモニタ、PQ(Perceptual Quantizer)または HLG(Hybrid-Log Gamma)への変換のための新しい技術も必要になります。

テクトロニクス、ビデオ・プロダクト・ライン、ジェネラル・マネージャのチャーリー・ダン(Charlie Dunn)は、次のように述べています。「HDR/WCG コンテンツ制作は最新の動向であり、テクトロニクスは差別化が求められている新しい世代のメディア事業者、従来の放送局のための、包括的なモニタリング・ソリューションでこれに応えます。ライブ制作でも、ポストプロダクションであっても、当社のお客様は自信を持って優れたコンテンツを制作できます」

4K HDR/WCG の機能拡張は、テクトロニクスの波形モニタのフル・ラインアップだけでなく、PRISM ハイブリッド SDI/IP メディア解析プラットフォームにも及びます。その特長を以下に記します。

WFM/WVR5200 シリーズ — オプション PROD により、奥行わずか 14cm の小型、低コスト・ユニットで HDR が利用できるため、小型中継車に最適です。機能拡張には、新しいカメラ・ログ目盛、PQ および HLG のための HDR 目盛、2-SI(Sample Interleaved)信号のシングル・リンクのための 4K サポートが含まれています。

WFM/WVR8300 型、WFM/WVR8200 型、WFM/WVR7200 型 — これらの波形モニタでは、ライブ制作のための HLG1000 目盛、アクティブ・ピクチャ領域、ブラック・バースト・リファレンスに対する Dolby E ガードバンド測定を含む、新しい機能拡張をサポートしています。その他の機能拡張としては、ユーザ選択可能な HDR リミットによる輝度とガマットのブライトアップ対応があります。

テクトロニクス製の波形モニター/ラスターライザには柔軟性に富んだオプションとフィールド・インストールが可能なアップグレードが用意されているため、さまざまなビデオ、オーディオのフォーマットに対応します。サポートされるビデオ・フォーマットには、4K/UHDTV1 (4096×2160 と 3840×2160)、3G-SDI、デュアル・リンク、HD-SDI、コンポジット・アナログがあります。サポートされるオーディオ・フォーマットには、Dolby E、Dolby Digital Plus、Dolby Digital、AES/EBU、エンベデッド・オーディオ、アナログ・オーディオがあります。

PRISM — このプラットフォームは、IP と SDI システム両方の広範囲な接続機能を持ち、さまざまな伝達関数とカラー空間の自動変換による HDR 信号の輝度セットアップと測定のための革新的なソリューションです。新しい STOP 表示はオペレータによる HDR カメラ露出設定を簡素化し、ハイライトまたはシャドウにおける過度のノイズによるクリッピングを防ぐことができます。新しいソフトウェアは、ITU BT.2020 から ITU BT.709 への変換、および S-Log、LogC、PQ および HLG から ITU BT.709 への変換もサポートしており、ピクチャ、波形、ベクトル、ダイヤモンド表示に適用できます。これにより、お客様が慣れている ITU BT.709 のカラー空間の表示を利用して HDR/WCG コンテンツ制作が行えます。

最新の機能強化で、PRISM は 4K、HDR/WCG コンテンツ制作の包括的な制作ツールになりました。ライブ・スポーツ放送またはドラマを撮影するカメラ・エンジニア、オペレータは、さまざまな出力信号特性の複数のカメラをすばやく校正し、バランスをとることができます。また、中継車、制作スタジオにおけるカメラ取込みのアプリケーションに最適です。

テクトロニクスについて

米国オレゴン州ビーバートンに本社を置くテクトロニクスは、お客様の問題を解決し、詳細の理解を深め、新たな発見を可能にする、革新的で正確かつ操作性に優れたテスト/計測モニタリング・ソリューションを提供しています。テクトロニクスは70年にわたり電子計測の最前線に位置し続けています。

ウェブサイトはこちらから。 jp.tek.com

テクトロニクスの最新情報はこちらから

Twitter ([@tektronix_jp](https://twitter.com/tektronix_jp))

Facebook (<http://www.facebook.com/tektronix.jp>)

YouTube (<http://www.youtube.com/user/TektronixJapan>)

お客さまからのお問合せ先

テクトロニクス お客様コールセンター

TEL 0120-441-046 FAX 0120-046-011

URL jp.tek.com

報道関係者からのお問い合わせ先
テクトロニクス 広報室 瀬戸
電話: 03(6714)3097 Fax:03(6714)3667
Email: seto.atsuko@tektronix.com

Tektronix、テクトロニクスは Tektronix, Inc. の登録商標です。本文に記載されているその他すべての商標名および製品名は、各社のサービスマーク、商標、登録商標です。